

第廿二番 医王寺（十一面観世音菩薩）

＊宗 派 天台宗

＊御本尊 薬師如来

＊開 山 春光坊祐長法印 延暦二十四年（八〇五）二月二十二日寂

＊現住職 第三十世 宮山光男

＊〒二一〇一〇八〇八 川崎市川崎区旭町二一四一四

＊☎〇四四一二三三―四二三九

＊京浜急行大師線「港町」駅下車 徒歩五分

薬王山無量寿院と号し、品川にある天台宗常行寺の末寺である。天正年間（一五七三―一五九二）小田原北条氏の家臣間宮豊前守信盛が当地に住んだ頃、祈願所と定めたことがあったが、宗祖伝教大師の持者とも云われる春光坊祐長法印が開山である。現在本堂は七間に六間で、御本尊薬師如来像木彫坐像は一尺八寸程。脇士立像一尺八寸程、その他十二神将等があり、脇本尊に十一面観音像がある。鐘楼は門を入って右にあり、二間四方。鐘径二尺八寸程で高さは五尺程。享保十年（一七二五）十月と彫られている。

ご 詠 歌

いのれただ

ちかいはふかき

かわさきに

だいじだいひの

あらんかぎりは



（第22番 医王寺）